

がん相談 支援センターだより



がん相談支援センター がん専門相談員 松岡 悠

医療者はサポートする側ではありますが、患者さんやご家族、地域の皆様からの言葉が励みとなったり、一緒に喜び、感動する場面も多くあります。今回は、頂いたお手紙や寄せられた声、感動した話を一部ご紹介します。

相談員の嬉しかった言葉

看護師さんに教えてもらい、がん相談へ入室すると、本当に優しい部屋の雰囲気が感じ取れました。まさか、がんになるとは思わず、気持ちの整理ができませんでしたが、話を聞いてもらい、随分、気分的に救われました。

がん相談の存在にどれだけ助けられ、安心できたことが知れません。本人は、皆さんに大切に思われ過ごした日々は前向きにがんばれたと思います。
皆さんに、感謝の気持ちでいっぱいです。

家族として辛かったけど、励ましてもらった言葉がずっと頭に残っていて、家族で良い時間が過ごせました。思いが通じて本当によかったです。身体はもちろん、心や気持ちを大切にしていたこと、忘れません。

自分のことを知ってもらえている安心感やどこに相談したらいいか分かっていることは、治療している中で、とても心強くてありがたい。がん相談支援センターをもっと多くの人に知ってほしいです。

感動した言葉・場面

病気になってからも後悔はしてこなかったです。だって、自分の人生、今までもすごく幸せだったから。家族や人の優しさが一番の薬で心が落ち着きます。

病室で「まだいてほしい」と筆談され、側にいることを伝えると、花丸を書かれた直後、旅立たれました。先生の仕事をされていた患者さんの人生や献身的にサポートされていたご家族への花丸を感じました。

感謝や愛情を感じる言葉、行動はとても心が温まります。日常の中の「ありがとう」を沢山見つけ、日頃から伝えていきたいものです。少しでも皆様のお力になれるよう、活動していきたいと思っています。
お気軽にお話、お聞かせください。

がん相談支援センター

【場 所】 2階ラウンジ横 がん相談支援センター 【相談時間】 平日(月～金) / 9:00～17:00
【相談方法】 面談または電話(予約・受付不要、相談無料) 【電話】 0855-28-7096

